

社会資本総合整備計画														事後評価書		
計画の名称	近江八幡市安土城下町地区都市再生整備計画															
計画の期間	平成 2 6 年度 ～ 平成 3 0 年度 (5年間)												重点配分対象の該当			
交付対象	近江八幡市															
計画の目標	【大目標】歴史資産の保存・活用と良好な水辺環境の保全及び低炭素なまちづくりにより、地域の魅力向上と観光の活性化を図る。															
	目標 1：安土城下の史跡、既存施設や西の湖等の水辺空間の整備による安らぎと憩いの創出。															
	目標 2：安土城の外堀、セミナリヨ浜の水運の保存と活用。															
	目標 3：「近江八幡市低炭素まちづくり計画」に定める目標である「低炭素で持続可能なまちづくり～にぎわいと活力の創造～」の実現に向け、歴史資産や自然環境と調和した安全で魅力的な歩行空間を整備し、環境負荷の少ない移動手段の利用を促進する。															
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		161	A	161	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H24	H29末	H30末
1	特別史跡安土城跡への来訪者数を、７７，０００人に増加させる。			
	特別史跡安土城跡への来訪者数	64275人/年	70000人/年	77000人/年
	観光協会の調査による安土城跡への来訪者			
2	JR安土駅周辺の利便性向上に関する満足度を、６０％に向上させる。			
	JR安土駅周辺の利便性向上に関する満足度	34%	45%	60%
	利便性満足度＝利便性に満足している数／調査対象者			
3	安土城外堀等の環境整備の参加者数を、３２０人に増加させる。			
	安土城外堀等の環境整備の参加者数	160人/年	220人/年	320人/年
	安土城外堀・セミナリヨ公園の環境整備の参加者数（市民）			

備考等				個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	近江八幡市	直接	近江八幡市	-	-	近江八幡市安土城下町地区都市再生整備事業	親水公園整備、道路整備等	近江八幡市	■	■	■	■	■	161		策定済	
											小計						161			
											合計						161			

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 令和元年9月 公表の方法 市ホームページにて公表
目標の達成状況と指標の達成状況を確認し、事後評価書の原案を作成。 第3者により組織される安土城下町再生協議会を交えた事後評価委員会を開催し、事業効果や指標の達成状況、今後のまちづくり方針等について評価。 事後評価の公表。	
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	安土駅地下道上屋等の整備で、地域住民及び観光客等の利便性が高まったことにより、駅周辺施設に対する満足度向上につながることができた。安土城跡への来訪者増加につなげる整備については、周辺施設への来訪者の減少と同様に減少しているため、効果の発現は現状では見られない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	整備された施設（セナリヨ公園）において、定期的な民間団体によるイベントに活用されるようになった。 舗装整備された道が観光周遊ルートとなり、観光客の往来の機会の増加につながっている。 主には施設周辺各地に情報案内板を設置することにより、近隣住民の観光客へのおもてなしの気運向上につながっている。 地域住民と協議のうえ、整備事業を進めていくことで、意見交換、情報共有ができ協働する体制を構築でき、地域振興の機運向上につながることができている。
○ 特記事項（今後の方針等）	
事業効果を発現させていくためには、整備拠点に限らず地域振興につながるイベントの開催や地域住民参加によるにぎわいの創出、整備ルート・観光案内板を活かした観光スポット回遊ルートの一体整備など地域住民とともに検討し、地域が活性化するまちづくりを進め、観光客誘致をめざす。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	特別施設安土城跡への来訪者数		
	最 終 目標値	77000人/年	周辺観光施設への観光客が直近数年間において減少傾向にあるなかで、安土城跡への来往者について目標数値を上回ることができなかった。
	最 終 実績値	57400人/年	
2	JR安土駅周辺の利便性向上に関する満足度		
	最 終 目標値	60%	安土駅周辺を利用しやすいように整備したことにより、周辺施設に対する利便性が向上し満足度の向上につながり、目標数値を上回った。
	最 終 実績値	7 6 %	
3	安土城外堀等の環境整備の参加者数		
	最 終 目標値	320人/年	地域団体などの働きかけ及び地域自治会等の積極的な参加により、目標数値を上回ることができた。
	最 終 実績値	370人/年	